

愚者の自覚を

(「浄土宗21世紀劈頭宣言より」)

「愚かなる者も、おのれ愚かなりと思うは、彼、これによりて、また賢きなり。愚かなるに、おのれ賢しと思うは、彼こそまこと愚かなるといわるべし。」

苦悩を除き、心やすらかなる \wedge さと \vee を説く、お釈迦さまの教え『発句経(ほっくきょう)』に示される言葉である。

私たちはいつのときも煩惱にまみれた「愚者」なのである。

阿弥陀仏は煩惱にまみれた人間―凡夫こそ救わなくてはならないとされ、南無阿弥陀仏の念仏を示された。そして、法然上人は、「智者のふるまいをせずして、ただ



(紅葉)

一向に念仏すべし。」『一枚起請文』と訴えるのである。